













【業種】 民間食品加工工場		【納入機種】 YG-3-1006	【事例】 YG-001
【納入場所】 茨城県小川町		【納入時期】 2001年11月	【納入数量】 2台
【導入目的】 1. 産業廃棄物処理費用の低減 2. 食品リサイクル法への対応 3. 減容による搬送コストの削減		【オプション・特殊仕様】 1. 直接投入方式の採用 2. 低面圧化 3. 大容量化(約600L/h)	
【分別内容】	処理物	包装容器(発泡スチロール容器)と内容物(納豆・辛子・たれ)の分別	
	処理量	約170kg/h × 5h × 2台 = 約1,700kg	
【分別前】 		【分別後のペースト】 	
【後処理方法】	異物	減容機 YB-5M により圧縮減容後焼却処分する	【分別後の異物】 
	内容物	現在は肥料化飼料化を目指す 土壌改良剤としても使用可能	
【機械の外観写真】  重量 1,100kg 外形 2,600 × 600 × 1,800 H			
【導入の効果】 未分別の物の産廃費用は後処理が焼却となるため、現在50円(処理費用) + 10円(引取料)であり客先が分別することにより、内容物の肥料化が可能となったため17円 + 10円と産廃費用が減額となった。 また、包装材も YB-5M により圧縮して引取りが可能となったため、運送費用のコストダウンとなった。			

【業種】 民間大規模ビル内の食堂		【納入機種】 YG-1-C-1001		【事例】 YG-002	
【納入場所】 大阪府大阪市		【納入時期】 2001年12月		【納入数量】 1台	
【導入目的】 1. 産業廃棄物処理費用の低減 2. 減容による搬送コストの削減 3. 廃棄食品の有効利用			【オプション・特殊仕様】 1. 大型ホッパー(400L) 2. 24時間自動運転 3. 受入ホッパー蓋の自動開閉。(臭気対策)		
【分別内容】	処理物		食堂から排出される生ゴミと箸・爪楊枝等の分別		
	処理量(乾燥機の仕様)		約32kg/h×24h×1台=約750kg		
【分別前】 			【分別後のペースト】 		
【後処理方法】	異物	箸・爪楊枝に限定されるため一般廃棄物として廃却している		【分別後の異物】 	
	内容物	乾燥後肥料化			
【機械の外観写真】					
			<p>機械メーカーがYGに乾燥機とバケツ投入機を組み付けたシステム全体図</p> <p>YGの概要 重量 1,000kg 外形 2,150×1,160×1,950H</p>		
【導入の効果】 食堂から日々排出される産業廃棄物としての生ゴミを分別し、乾燥させることにより 1. 乾燥物を専用コンテナに投入することで1回/月程度の引取となった。 2. 分別された異物は箸・爪楊枝に限定されるため、一般廃棄物として廃棄している。					

【業種】 民間食品加工工場		【納入機種】 YG-3-1005		【事例】 YG-003	
【納入場所】 茨城県水海道市		【納入時期】 2002年4月		【納入数量】 1台	
【導入目的】 1. 産業廃棄物処理費用の低減 2. 食品リサイクル法への対応 3. 減容による搬送コストの削減 4. 焼却炉が使用出来ない			【オプション・特殊仕様】 1. 直接投入方式の採用 2. 低面圧化 3. 大容量化(約600L/h)		
【分別内容】	処理物	包装容器(プラスチック・紙)と内容物(プリン・ヨーグルト)の分別			
	処理量	約400kg/h × 5h × 1台 = 約2,000kg			
【分別前】			【分別後のペースト】		
					
【後処理方法】	異物	産廃業者が引取後焼却			
	内容物	飼料化			
【分別後の異物】					
					
【機械の外観写真】					
					
重量 1,300kg 外形 2,400 × 600 × 1,850 H					
【導入の効果】 養豚家へ供給する専門業者が有価物として引取、成分調整の後、養豚家へ販売している。					

【業種】 民間食品加工工場		【納入機種】 YGL-3-10	【事例】 YG-004
【納入場所】 静岡県長岡町		【納入時期】 2003年6月	【納入数量】 1台
【導入目的】 1. 産業廃棄物処理費用の低減 2. 食品リサイクル法への対応		【オプション・特殊仕様】	
【分別内容】	処理物	包装容器（パックされた製造不良品・戻り品）と内容物（たれ・出汁）の分別	
	処理量	約300kg/日	
【分別前】 		【分別後のペースト】 	
【後処理方法】	異物	自社の焼却設備で焼却	【分別後の異物】 
	内容物	本機にて分別後、自社内の浄化槽で消滅させている。	
【機械の外観写真】 			
		重量 650kg 外形 550×1920×31200H	
【導入の効果】 自社にて小型の焼却炉を設備しているが、内容物の水分が多いため焼却出来ない。 産廃業者で焼却しているが、上記の理由に加えて臭気が発生するため産廃費用が高騰してきた。 YGLを設備して自社内で処理出来るように改良した。			